
沼津情報・ビジネス専門学校のディプロマポリシー (卒業認定・専門士授与の方針)

本校は、学則にある「教育基本法の精神に則り、学校教育法に従い、産業の発展に対応する情報処理及び関連する技術と商業分野における実務教育及び関連する部門の技術を教育するとともに教育に関する学科、衛生に関する学科、一般教養に関する学科も授けて、知性高く教養の深い近代的な中堅技術者を養成し、産業の振興に寄与する」ことが教育目標であり、卒業生は学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。

- 専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。
- 情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。
- 様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。

高度 IT エンジニア科のディプロマポリシー (卒業認定・専門士授与の方針)

今や IT はクラウドや AI などの発展により、社会の基盤を構成する時代から人々の豊かな生活を実現する時代へ移行しました。技術はますます高度かつ多様化が進み、様々なビジネスが生まれると同時に、高度な情報技術を駆使した仕事の理解も求められています。このような時代で活躍するには、多様なスキルや自らエンジニア（技術者）としてのキャリアを形成することが必要となります。

高度 IT エンジニア科では、数多くの情報分野を幅広く学習するだけでなく、基礎知識を専門的な実習・演習によって応用レベルまで引き上げ、より深い学びに発展させていきます。また、分野別に習得した実践的技術を実習・演習の場で統合することを経験することで、社会に通用するシステムを提案・構築・活用できる情報技術者としての力を身につけることを卒業の条件としています。

- [学びに向かう力・人間性]
地域社会に愛される技術者として、他者と協働し、自らを高め学び続けることができる
 - [知識・技能]
社会を支える情報システム構築に必要な、ICT の専門知識と実践力を身に付けている
 - [知識・技能]
ビッグデータに対応した ICT 基盤構築のための専門知識と実践力を身に付けている
 - [思考・判断・表現]
修得した技術と実践力を結集し、自ら考え判断し、問題解決に取り組むことができる
-